

2012年号

一般社団法人

岡山県電業協会

会報

Vol. 17



岡山駅周辺整備完成

新春を迎えて・会長	②
新春ご挨拶・岡山県知事	③
分離発注 陳情	④
行政研修会	⑤
社会貢献・福祉活動	⑥
社会貢献・防災訓練・清掃ボランティア	⑧
学校意見交換会・インターンシップ	⑩

技術研修会、1級施工・講習会	⑪
視察研修	⑫
日本電設工業協会・会員大会 国土交通省意見交換会	⑬
暴力追放・安全無災害運動	⑭
通常総会・ゴルフ交流会	⑮



新春を迎えて

“一般社団法人”として
新たなステージへ！

一般社団法人 岡山県電業協会

会 長 松 岡 徹

2012年、あけましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素より、関係機関、諸団体の皆様方をはじめ、会員の皆様方には、弊協会の事業運営にあたり、格別のご高配とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国はいま、超円高やタイ洪水被害等、経済的に厳しい状況を迎え、国内においては東日本大震災以降の消費の低迷、その上、増税の論議がなされており、まさに混沌とした環境下にあります。

建設業界のこれからの展望は、先行き不透明な予断を許さない状況にあると言えます。

昨年10月末に（財）建設経済研究所が公表した予測によりますと、平成24年度の始まりである第1四半期は実に23.3%の大幅な建設投資の増加が見込まれており、若干、明るい兆しが見えつつあります。

大震災のあった東北、関東辺りから、この好調な建設投資需要の波及効果が、次第に岡山県にも広まる事を期待せずにはられません。

私共、電気工事業界は、ライフラインを支えながら、大震災の復旧、復興支援や脱原子力発電による太陽光発電、風力発電の再生可能エネルギーの普及、そして、LED照明等の省エネルギー技術の活用、実践が求められており、多様化、高度化が著しく進む電気設備の分野の中で、大きな社会的使命を担っております。

さて、このたび弊協会は、平成24年1月5日付けで、岡山県より一般社団法人への移行が認可され、1月11日付けで「一般社団法人 岡山県電業協会」への移行登記を完了いたしました。

一般社団法人へ移行致しましても、福祉施設への電気設備の点検整備・寄贈や清掃ボランティア等の「社会貢献事業」、及び、国土交通省との意見交換や岡山県の入札制度、暴力団排除条例の研修等の「業界発展事業」の諸事業をこれからも継続して参りますと共に、新たな役割をも検討しつつ、今後とも、皆様と共に、力を合わせて弊協会の使命を果たしていく所存であります。

引き続き、関係各位の尚一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様方にとって希望に満ちた幸多き年になりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

〔旭電業株式会社 代表取締役社長〕



新春ご挨拶

“暮らしやすさ日本一”の 岡山を目指して

岡山県 知事 石井 正 弘

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、東日本大震災の発生で、改めて命の大切さや人としての生き方、自然の脅威やこれからの社会の在り方など多くのことを考え、感じさせる一年となりました。新しい年を迎え、すべての県民が、安全で安心な地域で、夢を持って生き生きと満足して暮らし続けることができる岡山を、必ず実現していかなければならないと決意を新たにしています。

東日本大震災に際しましては、多くの県民の皆様、温かい真心のこもった物資やご寄付をお届けいただきました。また、各界各層の団体に参画いただき県民会議を立ち上げ、職員派遣や被災者受け入れなど、県の総力を挙げて復旧・復興支援に取り組んでまいりました。

このような中、岡山湯郷ベルの選手も活躍した「なでしこジャパン」のワールドカップ制覇は、日本を明るく元気にしてくれました。

また、県内に目を向ければ、日本エアロフォージ株式会社の玉島ハーバーアイランドへの立地や国際バルク戦略港湾への水島港の選定など、将来に夢の広がる出来事が続き、B-1 グランプリでの県勢の大活躍など元気の出る話題も数多くありました。

県政においては、安全・安心の確保をはじめ、人口減少・超高齢社会や厳しい経済・雇用情勢、環境・エネルギー問題など直面する課題に的確に対応するとともに、「新おかやま夢づくりプラン」の総仕上げを進めながら、これに続く「第3次おかやま夢づくりプラン」の策定に取り組みしました。

「第3次おかやま夢づくりプラン」は、時代の潮流や東日本大震災の教訓、県民ニーズなどを反映しながら、選択と集中による政策の重点化や、岡山らしさあふれる先進的な政策である「岡山モデル」の展開を図り、「暮らしやすさ日本一」の岡山の実現を目指す新たな「県政推進の羅針盤」となるものです。

本年4月からスタートする中期5カ年計画には、四つの基本戦略、「安全・安心な地域づくり」「将来を担う人づくり」「発展につながる産業づくり」「豊かで潤いのある暮らしづくり」を掲げるとともに、中四国州構想推進プロジェクトや基本戦略を横断する三つのプロジェクトを盛り込み、わかりやすい指標や意欲的な数値目標も設定しており、県民の皆様と目標を共有しながら、「協働の県政」を推進してまいります。

将来にわたり発展し続ける、安全・安心な「暮らしやすさ日本一」の岡山づくりに向け邁進してまいりますので、引き続き、皆様の力強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

分離発注 陳情

分離発注は最も合理的な発注システム！

平成23年度「市町村における分離発注の現状」調査結果

（財）日本電設工業協会 （財）岡山県電業協会

都道府県	市町村数	原則分離発注	分離発注率(%)	順位
北海道	179	174	97.2	5
青森	40	36	90.0	12
岩手	—	—	—	—
秋田	25	14	56.0	38
宮城	—	—	—	—
山形	35	34	53.5	34
福島	—	—	94.2	9
石川	19	32	59.2	30
富山	17	15	51.7	35
福井	42	29	69.0	25
岐阜	19	14	73.6	22
京都	26	12	46.1	36
奈良	39	7	17.9	44
大阪	43	25	58.1	31
和歌山	30	9	30.0	41
兵庫	41	16	39.0	40
岡山	27	11	40.7	39
島根	21	14	66.6	26
鳥取	19	16	84.2	17
広島	23	16	69.5	33
山口	19	19	100.0	23
香川	17	13	100.0	1
徳島	24	13	80.0	18
愛媛	20	29	64.4	28
高知	21	21	100.0	1
福岡	26	23	88.4	14
大分	43	41	95.3	7
沖縄	41	41	100.0	1
合計	1611	1143		
構成比	100%	71%		

全国ワースト6！

平成23年7月5日(火)から延べ4日間、役員及び政策委員の協力により、県内にある国の出先機関、県庁及び市町村庁舎を訪問し、各々の首長に対し、従来以上の分離発注を陳情しました。

- 今日、施設の利便性、快適性、安全・防災性等のニーズの高まりに伴い、電気設備はますます高度化、複雑化し、今や建築物が機能を発揮するための最重要システムとなっております。
- 加えて、最近では地球環境配慮、ライフサイクルコストの縮減、IT技術の活用のための基盤整備が強く求められており、電気設備業界が責任を果たさなければならない場面が必然的に多くなってきております。また、施工技術の面におきましても著しく専門化が進み、躯体から独立した施工管理、コスト管理、品質保証等の施工責任を果たすことも強く求められております。
- このような視点から、躯体とは別発注の「分離（直接）発注」が最も合理的な発注システムであり、施主の皆様のニーズにも適うものと考え、業界を挙げて「分離（直接）発注」を推進する運動を展開しております。

分離発注方式 Q & A

Q1 分離発注方式の普及状況は？

A 現在、公共工事の設備工事は「分離発注方式」が基本です。公共工事は、入札や契約の過程、契約内容の透明性の確保が重要なため、国及び都道府県ではほぼ100%分離発注方式となっています。こういった面からも適正な契約には分離発注方式が優れているといえるでしょう。

Q2 なぜ分離発注方式を進めるのですか？

A 分離発注方式にすることで、責任の範囲が明確になります。また、設備にかかるコストがはっきりするのでお客様にとってメリットがあるといえます。そして、一番のメリットは、お客様と設備工事の専門家が直接話すことができ、お客様のご要望を的確に汲み取れるので、お客様にとって満足のいく設備を提供できることです。



岡山県のはる清建築営繕課長へ分離発注継続の陳情

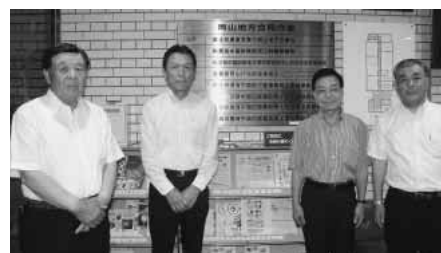


岡山市へ陳情：正副会長

訪問日	陳情者	訪問先
平成23年 7月5日(火)	旭電業(株)・平松電気工事(株)・大日電気興業(株)・(株)中電工・事務局	岡山県庁・岡山市 国土交通省(営繕・国道・河川)
7月6日(水)	大日電気興業(株)・旭電業(株)・中央電気(株)・(株)四電工	美作市、奈義町、勝央町、津山市鏡野町 真庭市、美咲町、久米南町
7月7日(木)	(株)中電工・旭電業(株)・平松電気工事(株)・太陽電機工業(株)	玉野市、早島町、倉敷市、浅口市、里庄町 笠岡市、井原市、矢掛町、総社市
7月8日(金)	平松電気工事(株)・(株)中電工・旭電業(株)・平和電気(株)	新見市、高梁市、吉備中央町、赤磐市 和気町、備前市、瀬戸内市



国土交通省岡山国道事務所及び岡山営繕事務所へ陳情



行政研修会



冒頭の挨拶：松岡会長

国・県の最新の入札・契約制度と 暴力団排除対策を研修！

平成23年6月24日(金)9時20分から
12時30分まで、岡山プラザホテルに
て会員67名が出席し、恒例の「行政
研修会」を実施しました。



司会進行：花尾政策副委員長

研修テーマ

1. 営繕工事における平成23年度入札・契約制度について

——国土交通省中国地方整備局岡山営繕事務所 技術課 課長 依田康明様

- ①入札・契約の方針と概要について
- ②総合評価方式別評価について
- ③施工体制確認型総合評価方式について
- ④実例からみた総合評価標準型の問題点
- ⑤総合評価でよくある質問について



講師：依田課長様

2. 岡山県建設工事の入札制度について

——岡山県土木部都市局 建築営繕課 課長 是清肇様



講師：是清課長様



熱心に聴講：会員

- ①平成23年度の入札・契約制度の見直しについて
- ②総合評価方式落札者決定基準について
- ③県発注工事における現場代理人の常駐の取扱いについて
- ④最低制限価格制度による一般競争入札(条件付)における資格確認書類の提出時期の変更について

3. 暴力団情勢と対策等について

——岡山県警察本部刑事部組織犯罪対策第二課
行政・暴力排除担当 課長補佐 警部 目黒文次様

岡山県暴力団排除条例制定(平成23年4月1日施行)

- ①暴力団の排除に関する基本的施策について
- ②青少年の健全な育成を図るための措置について
- ③事業活動における禁止行為について
- ④不動産の譲渡等に関する遵守事項について



講師：目黒警部様



閉会の挨拶：
平松政策委員長

社会貢献・福祉活動

社会貢献事業、喜びの笑顔と共に！

平成23年11月7日(月)から11月28日(月)の間、県内5箇所の福祉施設を対象に会員会社の分担により、電気設備の点検及び電気器具やスポーツ用品の寄贈をしました。この事業は、平成7年の協会設立以来毎年続けております。

分担会社名	動員	贈呈先施設	贈呈品	贈呈日
(株)電工社	2名	岡山市 岡山市視覚障害者協会 岡山市中区小橋町1丁目1-30 岡山市福祉文化会館内	視覚障害者用 庭球用品 (ブラインドテニス)	11/20
(株)電気工営	3名	介護付有料老人ホーム ヴィヴァーチェヴィータ ひかりの里 岡山市南区中畦187-8	電気掃除機	11/21
(株)報国電設	3名	NPO法人 太陽の会 障害者の地域活動支援センター 太陽の会作業所 井原市井原町1665-1	コンセント他	11/7
(株)中電工	12名	医療法人 誠和会 グループホーム コージー 倉敷市中島848-6	電気掃除機	11/9
平松電気工事(株)	3名	社会福祉法人 幸輝会 特別養護老人ホーム 幸輝園 岡山市中区国府市場985-1	電気掃除機	11/28

御礼状が
届きました

感謝状を
頂きました



太陽の会：(株)報国電設



ひかりの里：(株)電気工営（平松副会長同行）



幸輝園：平松電気工事(株)



コージー：㈱中電工



電気器具の
清掃・点検

社団法人岡山県電業協会
副会長 長門武文 様

お 礼

拝啓 晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度は、「グループホームコージー」に掃除機2台をご恵贈くださり、誠にありがとうございました。大事に使わせていただきます。
皆様ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。
まずは略儀ながら、書面にてお礼申し上げます。

敬具

平成23年11月11日

医療法人 誠和会
理事長 赤木和彦



岡山市視覚障害者協会：㈱電工社



寄贈のブラインドテニスを体験：
福田社長

東日本大震災の被災地域の同業者へ義援金拠出！

平成23年4月12日(火)に(一社)日本電設工業協会を通じて、東北3県の電業協会あてに義援金を拠出しました。

宮城電業協会及び(社)福島県電設業協会から御礼状が届きました。

義援金出捐者
各位

初夏の候、皆様ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度は、東日本大震災の発生に際し、(一社)日本電設工業協会本部を通して、会員相互の協力・支援となる心温まる義援金を当協会にお贈りいただきました。皆様のお気遣い、温かいお心に感謝の気持ちでいっぱいであり、誠にありがとうございます。
謹んで御礼申し上げます。
皆様のお気遣い、温かいお心に感謝の気持ちでいっぱいであり、誠にありがとうございます。
お贈りいただきました皆様からの善意の義援金は、被災した会員企業にお渡しし、日も早く元通りの企業活動が出来るように支援したいと存じます。
本筆ながら、義援金をお寄せいただいたご厚情に対し、断儀ながら一書中をもってお礼申し上げますとともに皆様のますますの発展とご健勝をお祈り申し上げます。
平成二十三年六月

宮城電業協会
会長 鎌瀬敬司

社団法人 岡山県電業協会 様

初夏の候、皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
本協会業務運営に際し、日頃よりご協力ご支援を頂きまして、厚く御礼申し上げます。
さて、この度の東日本大震災による当福島県の被災にあたり、皆様より思いもよらぬ心温まる義援金をいただきまして、皆様方のお気遣いに感謝の気持ちで一杯でございます。
当会員の被災状況ですが、福島原発事故により避難を余儀なくされた会員4社のほか、大地震によって当協会会館及び多くの会員が被害に遭遇いたしました。
頂きました義援金は、被災した会員企業が一日も早く活動出来るよう、支援して参りたいと存じます。
末筆ながら、この度のご厚情に對しまして、書中をもって御礼を申し上げますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。
追伸 皆様から寄せられました義援金につきましては、本協会機関紙「電設新聞162号」に掲載させていただきました。

平成23年5月吉日

社団法人 福島県電設業協会
会長代行 八 巻 正 隆

社会貢献・防災訓練 清掃ボランティア

早朝の奉仕活動は気分爽快!

平成23年9月25日(日)午前7時より、後樂園、旭川周辺を対象に岡山地域の防災参画会員の44社55名の該当全社が参加して清掃奉仕活動を実施しました。又、平成23年11月6日(日)午前8時より、玉島溜川公園周辺を対象に倉敷及び県西部地域の防災参画会員の8社10名の該当全社が参加して清掃及び菜の花の苗の植付けの奉仕活動を実施しました。これらの活動は、当協会が防災協定を岡山県(平成21年1月30日付け)及び岡山市〔平成22年6月7日付け)との間で締結し、それに基づき防災参画会員の「災害対策緊急連絡網」が緊急時に機能するか確認すべく、併せて、召集訓練及び清掃奉仕活動を目的に毎年実施しています。

(岡山地域)



岡山地域参加の皆さん



お礼の挨拶：平松政策委員長



男性も女性も参加



雑草の中までも



朝日を浴びて

(倉敷・県西地域)



倉敷・県西部地域参加の皆さん



実行委員長の挨拶：
太陽電機工業㈱の兼信会長
(玉島商工会議所環境問題委員長)



清掃奉仕活動後の菜の花の植付け



学生も、職域も、地域も参加

ボランティア活動実績証明書

所在地 岡山市〇〇区〇〇

商号又は名称 〇〇〇株式会社

上記の者は、一般社団法人 岡山県電業協会が平成〇〇年度(平成〇〇年〇月

〇日)に実施した、清掃ボランティア活動に参加した者であることを証明する。

平成〇〇年〇月〇日

一般社団法人 岡山県電業協会

会長 佐藤 徹



“清掃ボランティア活動”が評価の対象に!

国土交通省中国地方整備局が発注する総合評価方式一般競争入札の参加資格審査において、清掃ボランティア活動参加の実績が、評価の加点対象となっております。

物件毎に、参画会員の皆様に“清掃ボランティア活動証明書”を発行しておりますので、入札公告を確認の上、必要の旨を事務局までお申し出ください。

学校意見交換会

求人は超氷河期・電設業界の近未来を意見交換！

平成23年5月18日(木)午前10時から第21回電気学科系教育機関との意見交換会を岡山ブラザホテルにて開催し、求人・求職状況や教育のあり方、入社後の未来像等々について意見交換をしました。

電気系学生を擁する大学・高専・専門校等20校25名の先生方のご出席をいただき、当協会から役員・委員15名が出席しました。

松岡会長挨拶

- ・案内した全校のご出席の中、忌憚のない意見交換をお願いしたい。
- ・原子力発電に替わる多様な発電に変化しても、「電気」を繋ぐのが我々の役目であり、永続的な業界であることを学生達に伝えて頂きたい。



意見交換中の会場



「電気」を繋ぐのが役目：松岡会長

懇談概要

■大学・高専コメント

- ：震災の影響で、未だ就職活動をしていない学生がいる。
- ：最近、学力低下の傾向があり、今までと同じ考えていたら世の中で通用しなくなる。個々人に合った自立を促すべくキャリア形成を目指した教育に取り組んでいる。
- ：自分の意志で行動出来ず親に相談する学生が多い。
- ：地元志向が強く県外勤務の面に於いて、ミスマッチが増加。
- ：入社後、5年先、10年先の業務や地位を求人票に表して欲しい。就職後のミスマッチを防ぎ就職指導に生かしたい。

■高校・専門校コメント

- ：震災を考慮し、採用試験を遅らせて欲しい。
- ：推薦の場合、複数受験はしていないので、採用

可否は速やかをお願いしたい。

- ：インターンシップをさせ、就職後のミスマッチを少なくしている。
- ：装柱作業を含め様々な体験をさせている。
- ：「第2種電気工事士」は大半が合格している。

■業界コメント

- ：新卒を採用後早いうちに教育し、じっくり育て上げたい。
- ：電気は範囲が広い。それに応じるため電気科を優先採用。
- ：体育会系の明るく活発な学生を望む。弱い子はダメ。
- ：学生時の資格取得者が増加し、業界として有り難い。
- ：中途採用であってもヤル気次第。新卒者とのハナデは無い。



お礼の挨拶：川口総務委員長



活発な学生を採用したい：当協会役員



資格取得に力を入れている：教育機関の皆様

インターンシップ

平成23年8月1日(月)から述べ5日間、会員の三恭電設(株)が中国職業能力開発大学校生産電子システム技術科の学生3名を受け入れ、インターンシップ(職場体験)を実施しました。産学が連携して、未来を担う人づくりを進めていく上での事業であり、就業体験の場を提供し、その中で職業観、就業意識の高い人材育成を図るものであります。



三恭電設(株)瀬戸口社長の受け入れた感想

5日間という短い期間でしたが、少しでも実際の現場の雰囲気を感じ取ることができたのではないかと思います。現場実習では、最初は何をどうすればよいか、戸惑うところもあったようですが、後半には徐々に慣れてきたようで、自ら声を掛けるようになり、積極的に手伝おうとする態度に、学ぼうとする意欲を感じました。しかし、もう少し、自分の持っている知識と照らし合わせて、具体的な意見・質問が出てくれば、更に印象が良くなったと思います。

技術研修会、1 級施工・講習会

L E D 照明器具の最新の技術を学ぶ！



冒頭の挨拶：松岡会長

平成23年11月22日(火)午前 9 時20分から12時30分まで、「会員技術研修会」を岡山プラザホテルにて開催しました。当日は61名が出席し、L E D 照明器具の最新の技術について研修しました。

研修テーマ

「L E D 照明器具に関する課題と施工標準化について」

(一社) 日本電設工業協会派遣講師

(株) 中電工技術本部電気技術部 係長 伊東仁様、北本晴久様

■ 白色L E D 照明は、従来の白熱灯や蛍光灯・放電灯等と比較して消費電力の大幅な削減が期待できることから、急速に市場に広がっています。今まで照明とは関係の少なかった半導体・電子部品分野等、幅広いメーカーが照明分野に参入してきており、器具の安全性・品質等の判断基準、施工の標準化が早急に求められているところです。依然としていろいろな種類のL E D 照明器具が急速に市場に広がり、関連規格が徐々に整備されつつある現状を考慮し、この度、L E D 照明器具の特徴、現状と問題点、関連法規・規格の紹介と施工上の留意点等をまとめ、研修テーマとしました。



司会進行：
福田技術委員



これからの技術に注目を：
北本、伊東両講師



閉会の挨拶：
牧野技術副委員長



熱心に聴講する会員

好評の受験準備講習会延べ97名が受講！

「平成23年度 1 級電気工事施工管理技術検定試験」の受験準備講習会を開催しました。(一社) 鳥取県電業協会及び岡山県電気工事工業組合の協力を頂き、広島県や鳥取県からの参加がありました。



熱心に聴講する受講者



ベテラン講義：
河崎講師

◎ 講習会概要

	講習日	受講者数	講師陣	場所
学科講習	平成23年 5 月10日(火)～ 5 月12日(木)〔3 日間〕	54名	延べ 6 名(9 科目)	コンベックス 岡山
実地講習	平成23年 9 月15日(木)〔1 日間〕	43名	延べ 3 名(5 科目)	



熱意ある指導：
青山講師



個人添削指導中：
石田講師

◎ 今年の受験準備講習会のお知らせ

今年も多数のご参加をお願いします。詳細は 2 月頃ご案内予定です。

	講習日	場所
学科講習	平成24年 5 月15日(火)～ 5 月17日(木)〔3 日間〕	コンベックス岡山
実地講習	平成24年 9 月13日(木)〔1 日間〕	



受付：牧野技術副委員長

オーバーホール中の福島原子力発電所の 非常用自家発電機を見た！

平成23年10月27日(木)に技術研修の一環として会員19名が姫路市にある「西芝電機㈱発電機工場」を視察しました。

初めに、同社取締役赤塚憲一様他のご挨拶や工場概要の説明を受け、広大な敷地をバスで移動しながら工場内の見学をさせていただきました。

主に、産業用・船舶用自家発電機や制御盤の板金の素材から塗装組み立て迄の製造工程を見て理解を深めました。



工場全景



視察参加の会員



工場幹部の皆様：赤塚取締役(右端)



視察研修旅行記

平松電気工事㈱ 平松 良一

10月27日(木)28日(金)の二日にかけて淡路島を含めた兵庫県西部地区に視察研修旅行に行っていました。

参加者は、松岡会長はじめ総勢19名です。

27日早朝よりバスにて岡山を出発し、姫路市南部、網干区にある西芝電機株式会社の工場見学を行いました。ここは、東芝の関連会社で、主に船舶、海洋電機システムと発電・産業システムを2軸に生産している工場です。創立は昭和25年に当時の東京芝浦電気(株)より分離、独立した会社で特殊な配電盤や発電機を製作していて、特徴としては主要部品以外のものまで、一つの工場内で製作し組立しているところです。

これは、生産効率、コスト削減を第一とする近年の一般的な工場と違うようですが、工場の方曰く「メリットにもデメリットにもなるが、この特色を生かして会社を成長させたい」とのこと、とても耳に残るコメントでした。

他にはオーバーホール中の福島原発の非常用発電機(放射能は帯びておりません)があったのには少々驚いたところです。

その後、工場のほとりを流れる揖保川を北上し、たつ

の市龍野町に行き、昼食を兼ねて「揖保の糸」の製作過程を体験見学し、一路、神戸市立須磨海浜水族園へ施設見学に…。平日の午後でしたので人も少なく、ゆっくり見学できました。

みなさん、自ら好んで水族館には行く方はおられないと思いますが、気づくと熱心に見入ってしまうのが水族館の不思議なところ。また、オジサン19人がイルカのジャンプに歓声を上げている姿も不思議な光景でした。やっぱり水族館は癒されます。

宿泊先は、淡路島洲本市にある「ホテルニュー淡路」です。とにかく、温泉が素晴らしく詳しくお知らせしたいのですが、必要以上に感情移入してしまいそうなのでここでは割愛致します。みなさん機会があれば是非訪れてください。

翌28日は淡路観光組とゴルフ組に分かれ地元の風土と人々との触れ合いを研修させていただきました。今回残念ながら参加できなかった方、次回は是非ご参加ください。電業協会の視察研修旅行は、とても充実した旅行ですよ！

最後になりましたが、視察研修旅行をご案内したところ、快くご参加いただいた、賛助会員のみなさま、ありがとうございました。紙面をお借りして、御礼申し上げます。

日本電設工業協会・会員大会

名古屋市で開催、430名余りの会員が集結！

平成23年10月13日(木)、愛知県名古屋市の名古屋観光ホテルにおいて「一般社団法人日本電設工業協会平成23年度会員大会」が会員430名余りの参加を得て盛大に開催されました。当協会からは松岡会長が出席しました。来賓として、足立敏之国土交通省中部地方整備局長をはじめ、大村秀章愛知県知事、住田博名古屋市住宅都市局副局長他がご出席をされました。

- 林会長の冒頭挨拶では、最近の経済動向と業界の情勢を踏まえ、協会が取り組む課題として分離発注の推進、適正価格・適正工期での受注活動、人材の確保・育成、電設技術を通じた低炭素社会の実現などが述べられました。
- その後、「電設協の人材育成の取り組みと登録基幹技能者の処遇改善」をテーマに原人材委員会副委員長から、また、「若者に電気工事の魅力を！～中小企業人材確保推進事業～」をテーマに小林三重電業協会会長から基調報告がありました。四つの活動目標を柱とする大会決議が井上運営委員長から提案され、満場一致で採択して会員大会は終了しました。大会終了後、徳川義崇徳川美術館館長から「文化を守る」と題して記念講演があり、その後、会員懇親会が行われて幕を閉じました。
- 今年の会員大会は平成24年10月18日(木)午後3時から鹿児島市にて開催されます。



冒頭の挨拶：林会長
〔㈱関電工 会長〕



会員大会決議：井上副会長
〔日本電設工業(株) 社長〕



参加した中国支部の幹部：
荒木(島根)会長 松岡会長
加藤(広島)元会長 藤本(山口)会長

国土交通省意見交換会

国から情報提供を受け、業界から要望！

平成23年10月28日(金)午後2時より、広島八丁堀シャンテにおいて、国土交通省中国地方整備局営繕部（出席者8名）（一社）日本電設工業協会中国支部（出席者6名）及び(株)日本空調衛生工事業協会中国支部（出席者8名）との間で、意見交換会が開催されました。

- 冒頭中国地方整備局永島営繕部長様のご挨拶がありました。「遅れていた来年度の予算要求は9月末に官庁営繕部として財務省に予算要求をしました。東日本大震災からの復興、全国的な防災設備についての対策、持続可能な法令づくり、成長戦略の推進にメリハリをつけた形で要求をしました。官庁営繕施設においては、耐震化・津波対策、改めて省エネルギーについてのモデル庁舎の試みを協議しております。近年、工事発注においては、非常に人気のある工事にご応募いただけない工事との2極化がすすんでおり、今後手続きに支障が生じかねない状況も生じており、意見交換をしながら改善に向けて取り組んでいきたい。」

業界要望(抜粋)

- ①JV工事の競争参加資格条件の見直しについて
- ②応札時提出の工事費内訳書の緩和化について
- ③開札から落札決定までの期間短縮について
- ④工事成績の対象期間要件の緩和について
- ⑤工事検査基準等について
- ⑥公共工事の継続的な発注について



閉会挨拶：神出支部長
〔㈱中電工 社長〕

業界要望する
意見交換会

暴力追放・安全衛生推進

暴力団のいない「安全・安心の岡山」の実現に向けて！

暴力追放運動

①平成23年3月24日(木)午前10時から当協会総会の前に4月1日施行の「岡山県暴力団排除条例説明会」を県警本部組織犯罪対策第二課の目黒警部様を講師に迎え実施しました。会員53名が熱心に聴講しました。



司会：花尾政策副委員長



①総会の前に県暴力団排除条例説明会：講師目黒警部

②平成23年6月30日(木)午後1時30分から岡山県及び(公財)岡山県暴力追放運動推進センター主催による「岡山県暴力団排除条例制定県民総決起大会」がコンベックス岡山で開催され当協会から4名が参加しました。



③暴力追放・銃器根絶運動推進県民大会：石井知事

③平成23年11月15日(火)午後1時30分から(公財)岡山県暴力追放運動推進センターなど主催による「県暴力追放・銃器絶滅運動推進県民大会」が岡山衛生会館で開催され当協会から2名が出席しました。



②県民総決起大会



来賓として出席：
川口副会長

■同センター名誉会長の石井正弘知事が「関係機関が総力を挙げて暴力団との関係遮断に取り組み、明るく住みよい岡山をつくる。県民の幅広い支援と協力をお願いしたい」と挨拶されました。

安全・無災害運動

平成23年9月29日(木)午後1時から岡山ふれあいセンターにおいて、県下各地から関係者340名が参加して「第2回『リスクにチャレンジ!岡山』運動推進大会」(主唱：建設業労働災害防止協会岡山県支部)が開催され、当協会から11名が出席しました。冒頭、坂本支部長から当運動に取り組み、死亡・重篤な労働災害の撲滅を図ることを表明されました。この運動は、主唱者・後援者・協賛者が連携して労働災害を撲滅するために当運動を展開してリスクアセスメントの普及促進、実践することを目的に推進しています。



主催者挨拶：坂本支部長



祝辞：大崎岡山労働局長

通常総会・ゴルフ交流会

予算・決算・定款変更・一般社団法人移行を承認!

第31回通常総会

平成23年3月24日(木)午前11時から岡山プラザホテルにて第31回通常総会を開催しました。

- 当日出席者31名(他に委任状出席14名)により、次の議案を審議、議決しました。

- 第1号議案 平成23年度事業計画案承認の件
- 第2号議案 平成23年度収支予算案承認の件
- 第3号議案 入会及び退会規程改定案承認の件



一般社団法人移行申請を承認

第32回通常総会

平成23年5月23日(月)午後5時から岡山プラザホテルにて第32回通常総会を開催しました。

- 当日出席者33名(他に委任状出席12名)により、次の議案を審議、議決しました。

- 第1号議案 平成22年度事業報告案承認の件
- 第2号議案 平成22年度収支決算案承認の件
- 第3号議案 定款変更の案承認の件
- 第4号議案 一般社団法人への移行認可申請に関する件



第31回総会司会：
木多総務委員



第32回総会司会：
池田総務委員



監査報告：
戸川監事



恒例の懇親会の締め：平松副会長



加藤顧問
挨拶

第5回ゴルフ交流会

平成23年5月14日(土)たけべの森ゴルフ倶楽部に、第5回ゴルフ交流会を開催しました。

- 会員、賛助会員18名が参加し、晴天の中、快適にプレーし会員相互の交流を深めました。



第5回交流会参加の会員



㊥準優勝：宮本さん
㊤優勝：松岡さん
㊦第3位：長門さん

第6回ゴルフ交流会

平成23年11月27日(日)岡山金陵カントリークラブにて、第6回ゴルフ交流会を開催しました。

- 会員、賛助会員17名が参加し、晴天無風のベストコンディションの中、日頃の技を競いながら会員相互の交流を深めました。



第6回交流会参加の会員



㊥第3位：平松さん
㊤優勝：宮本さん
㊦準優勝：長門さん



整備前の岡山駅周辺(平成14年頃)

一般社団法人 岡山県電業協会

事務局 〒700-0953 岡山市南区西市430
 電話 (086) 244 - 4838 番
 F A X (086) 245 - 9136 番
 E-mail info@okadenkyo.or.jp
 URL http://www.okadenkyo.or.jp

編集発行人 総務委員会



表紙写真提供：岡山市

この印刷の一部には水質保全に有効な
水なし印刷方式を採用しています。



この印刷には、環境にやさしい
植物油インキを使用しています。



古紙/パルプ配合率100%再生紙
を使用しています。